

第15回広島大学講演会

「ロケット打上げから衛星軌道へ、 宇宙ステーションで乗り換えて、 ルナーや火星へ」



講師 **西山 建志** (にしやま けんじ) 氏

宇宙航空研究開発機構 宇宙基幹システム本部
有人宇宙環境利用プログラム室 主幹

日時 平成17年11月10日(木)
10:30 - 12:30

会場 中央図書館ライブラリーホール
(広島大学東広島キャンパス)

大学での理工学部の理論研究が、そのまま直接、有効応用される、宇宙飛行解析部門についての講演です。

「ロケット重力圏脱出、周回軌道制御、太陽同期回帰軌道投入、宇宙ステーション等へのランデブードッキング、月への出発可能時間帯解説、火星への深宇宙飛行ストラタジー等について、アポロ月着陸後の米国ソーアデルタロケット宇宙技術導入から、最近の失敗の多い自主国産技術まで、30年間の宇宙飛行解析研究開発での、カリフォルニアのマクダネルダグラス社デルタロケット解析研修、種子島でのロケット打上げ、ツールズ地球観測衛星分野での出張業務、米国スタンフォード大学での宇宙技術研究留学等の実体験」等

主催: 広島大学工学研究科・産学連携センター

担当: 広島大学産学連携センター (082-421-3708)



Courtesy of NASA